

2017 年度事業計画

1. 出資・融資事業

(1) 出資金の募集

2016 年度に引き続き、momo のミッションに賛同し、顔の見える関係にある個人・団体からの出資・増資を募っていきます。「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としての「質の向上」のみならず、「量の拡大」も意識し、東海地域における講演等では「出資のてびき」「momo のあゆみ」を配布し、広く出資を呼びかけます。

ブース出展時の直接対話（ダイレクトダイアログ）による働きかけも継続して実施し、新たな仲間づくりを進めていきます。

(2) 正会員への融資

1) 融資の募集

17 年度の融資募集は年 3 回行います。融資申し込みの受付開始は 17 年 6 月、10 月、18 年 2 月を予定しています。

2) 「個別相談会」「面談（一次審査）伴走支援」の実施

17 年度は、各回の融資先募集に合わせて、「個別相談会」を一週間設け、融資希望者とともに融資の可能性を探ります。また、書類審査を通過した融資申込先に対しては、各担当理事が伴走支援を実施します。

【2017 年度「個別相談会」スケジュール（1 回 1 時間以内）】

●第 25 回

・日時：2017 年 7 月 10 日（月）～14 日（金） 10:00～20:00

●第 26 回

・日時：2017 年 11 月 13 日（月）～17 日（金） 10:00～20:00

●第 27 回

・日時：2018 年 3 月 12 日（月）～16 日（金） 10:00～20:00

3) 融資審査委員会の開催

17 年度も引き続き、融資申込案件は理事のほか、NPO/NGO やコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問とともに、融資審査委員会で審議し、理事会で融資実施の可否を決定します

17 年度の顧問は以下の 10 名です（敬称略）。各顧問には二次（面談）審査にはできる限り同席いただくようお願いしています。

- ・五十川裕記（中日信用金庫 業務統括部 副部長）
- ・小見寺敦史（岐阜商工信用組合 理事）
- ・加藤慶文（株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業 名古屋広域営業推進室 室長）
- ・川北輝（NPO 法人みえ NPO ネットワークセンター 副代表理事）
- ・酒井隆信（東濃信用金庫 とうしん地域活力研究所 副所長）
- ・佐野真隆（瀬戸信用金庫 総合企画部 地域貢献グループ 副調査役）
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 専務理事）
- ・杉浦浩（豊田信用金庫 経営支援部 部長代理）
- ・古里圭史（飛騨信用組合 常勤理事）
- ・峯上裕幸（愛知県信用保証協会 経営支援部 支援連携課 副長）

4) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の 70%を上限に融資を行います。貸し倒れ等のリスク対策として、16 年度に引き続いて貸付金利息を損失準備金として積み立て、理事の出資金（17 年 6 月末で 2,743,000 円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えます。

2. 非資金支援（「情報発信」と「場づくり」）

（1）メーリングリストの活用

出資や融資などの当団体の活動を随時お知らせするために、会員メーリングリスト（momo-members@freeml.com）を積極的に活用します。引き続き「momo レポート」を月1回配信するほか、会員間の情報交換、融資先や審査に関する情報などもお届けします。

また、イベント情報等を会員にPRしたい方は、交流メーリングリスト（momo-koryu@freeml.com）をご活用ください。

（2）Web サイトの充実

当団体の考えや取り組み、かかわる人たちを広く伝えていくために、16年度より引き続きWebサイトを活用します。ボランティアスタッフ「momo レンジャー」の日々の活動や融資先の情報は、引き続きWebマガジン『momo 通信』、facebookなどで報告し、当団体の動きが随時わかるよう努めていきます。

（3）イベントの開催・出展

17年度もボランティアスタッフ「momo レンジャー」の自発的な参画により、以下の開催を予定しています。（今年度もmomo レンジャーの活動期間を「半年」ごとの更新制とし、「情報発信」と「場づくり」を通して融資先を応援していきます。）

- お披露目会：新たな融資先の活動を紹介するイベントを開催します。
- 完済イベント：完済を迎えた融資先の成果を報告し、完済を祝うイベントを開催します。
- ブース出展：来場者が多数集まる屋内外の各イベントにブースを出展し、直接対話で出資を募る「ダイレクトダイアログ」等を実施します。
- 融資先訪問ツアー：会員とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に活かされていることを実感してもらいます。

（4）その他

17年度も融資実施後の経過を把握するために、融資先の活動に適宜参加したり、「融資先訪問ツアー」等の開催を通して、ともに学び合う関係を築いていきます。また、返済期日を厳守いただくためにも継続して連絡を取り合っていきます。

3. 地域金融機関等との連携事業

（1）東海ろうきん「NPO 育成助成」の企画運営

17年度も東海ろうきん「NPO 育成助成」の企画運営を担当します。「ミッション&ビジョン」「組織課題」「その解決策」の明確化に集合研修等で取り組む【組織診断】や、組織運営上の課題を解決する【基盤強化】を通して、想いを「本気で」カタチにしたいNPOを応援します。

（2）「ソーシャルビジネスサポートあいち」への参画

地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を、地方公共団体、地域金融機関、中間支援組織等で連携して支援するためのネットワークです。地域の支援機関との共同で2014年10月23日に発足しました。17年度も引き続き、本ネットワークに参画するとともに、日本政策金融公庫との共同事務局としてWebサイトの運営などを担います。

(3) 「地域金融機関職員育成プログラム 2017」の実施

momo では今年度、地域金融機関向けにこれまで取り組んできた活動を、「『事業性評価』『地方創生』『休眠預金活用』時代における地域金融機関職員育成プログラム 2017」として紹介するパンフレットを作成・配布し、地域金融機関職員の参画を呼びかけます。

【地域金融機関職員育成プログラム 2017】

- ・「事業性評価」を“体験”から学ぶ ～「融資審査」に参加する～
「融資申込者との面談」に参加し、「事業性評価」の現場を体験する
- ・「休眠預金活用」を“体験”から学ぶ ～『お金の地産地消白書』を読む会～
『お金の地産地消白書』をテキストに、NPO・ソーシャルビジネスの理解を深める

(4) 『お金の地産地消白書 2017』の製作

14 年度に発行した『お金の地産地消白書 2014』の最新版、『お金の地産地消白書 2017』を製作します。製作にあたっては行政、コミュニティ財団、金融機関とともに製作委員会を発足し、地域の課題解決に地域の“志金”を生かす「お金の地産地消」のさらなる推進を目指します。

また、本書をテキストとした『お金の地産地消白書を読む会』を、17 年度も引き続き全国の地域金融機関や行政、中間支援組織等を対象に実施します。

(5) 「SROI 測定サポーター養成講座」の開催

本講座は、地域課題の解決に挑む市民公益活動団体（NPO）が地域や社会にもたらした定性的な価値について、貨幣価値に換算して定量的に示す「SROI（※1）」を測定するプロセスを、実践的な演習を通して身につける講座です。

講座では、2013 年度から SROI の測定に挑戦してきた momo の取り組み（※2）を踏まえて開発した『SROI 測定ワークシート集』を使用します。

※1：「Social Return on Investment」の略。社会的投資収益率。

※2：2013 年度から実施してきた「NPO の社会的価値『見える化』プログラム」は今年度、実施しません。本プログラムの運営費に充当させていただいている「momo たね基金」に今年度ご寄付いただいた資金は、2018 年度のプログラムに活用させていただきます。

(6) 実行委員会や会議等への派遣

17 年度、代表理事の木村や他の役職員を委員等として派遣する予定の実行委員会、会議等は以下の通りです。

【木村】

- ・寄付月間推進委員会 委員
- ・休眠預金「未来構想」プラットフォーム メンバー
- ・全国 NPO バンク連絡会 副理事長
- ・一般社団法人全国コミュニティ財団協会 副会長
- ・東海若手起業塾実行委員会 理事／事務局長
- ・認定 NPO 法人日本 NPO センター 評議員
- ・認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会 理事
- ・新公益連盟 中部ブロック 代表
- ・一般社団法人全国レガシーギフト協会 専門家委員会 メンバー
- ・Panasonic NPO サポートファンド（環境分野） 助成選考委員長

(7) ヒアリング調査等への対応

17年度も引き続き、ヒアリング調査等のお申し出にもできる限り対応します。

4. 東海若手起業塾

17年度も引き続き、事務局として参画し、東海地域を活性化するために自らの事業を本格的な成長軌道に乗せたいという情熱を持った若手起業家を支援していきます。

5. その他（管理運営）

●総会・理事会の開催

17年7月23日（日）に定時総会を開催します。また、17年度も理事会を原則毎月開催します。

2017 年度予算

予算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2017 年 6 月 1 日至 2018 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	2016 決算	2017 予算
I. 経常収益		
1 受取会費		
情報会員	128,000	160,000
2 受取寄付金		
マンスリー	545,200	0
その他寄付	46,713	53,500
3 受取助成金等		
助成金	0	0
4 事業収益		
融資	398,422	325,000
非資金的支援(情報発信と場づく り)	106,800	110,000
金融機関等との連携	8,680,259	10,800,000
東海若手起業塾	3,566,000	3,836,000
5 その他収益		
受取利息	1,418	1,500
雑収入	0	0
経常収益計	13,472,812	15,286,000
II. 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
役員報酬	4,216,414	4,040,000
給料手当	3,977,820	3,905,000
賞与		
通勤手当	347,038	433,523
法定福利費	718,940	633,402
人件費計	9,260,212	9,011,925
(2)その他経費		
外注費	252,120	210,909
広告宣伝費	308,902	954,778
印刷費	544,736	1,193,139
会議費	67,281	64,000
旅費交通費	453,460	632,000
通信費	154,792	330,850
消耗品費	33,926	49,000
水道光熱費	91,593	90,000
諸会費	81,000	127,000
支払手数料	101,450	102,348
謝礼金等	605,000	1,246,600
賃借料	50,100	140,000
出展料	0	0
租税公課	1,700	0

その他雑費	69,462	7,000
その他経費計	2,815,522	5,147,624
事業費計	12,075,734	14,159,549
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	40,000	40,000
給料手当	360,000	415,000
賞与	0	0
通勤手当	61,242	48,169
法定福利費	126,872	70,378
人件費計	588,114	573,547
(2) その他経費		
外注費	0	0
広告宣伝費	32,400	0
印刷費	44,169	30,000
会議費	0	0
旅費交通費	1,210	10,000
通信費	52,015	50,000
消耗品費	19,007	20,000
水道光熱費	16,164	10,000
諸会費	0	0
支払手数料	6,874	5,900
謝礼金等	0	0
賃借料	11,000	11,000
出展料	0	0
租税公課	0	0
その他雑費		
その他経費計	182,839	136,900
管理費計	770,953	710,447
経常費用計	12,846,687	14,869,996
Ⅲ 経常外費用		
1 予備費		0
2 損失準備金積立	342,422	250,000
3 未払法人税等	68,500	68,500
経常外費用計	410,922	318,500
費用合計	13,257,609	15,188,496
当期正味財産増減額	215,203	97,504
前期繰越正味財産額	3,850,901	4,066,104
次期繰越正味財産額	4,066,104	4,163,608

修正日:2018年2月1日